

平成19年度 柏市幼児教育研究協力員調査報告

【テーマ】

「子どもの生活と親の育児観・子育ての悩み」

調査方法

- ◆ 調査対象 柏市内在住の幼児（3～6歳）をもつ保護者 及び その子ども
- ◆ 調査方法 柏市幼児教育研究協力員による質問紙調査
- ◆ 調査時期 平成19年7月

基本調査

- A 対象となった保護者について
- B 対象となった子どもについて

今年度の調査項目

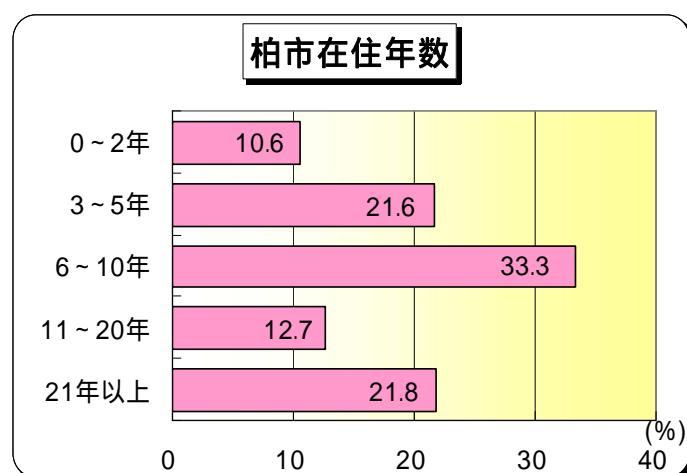
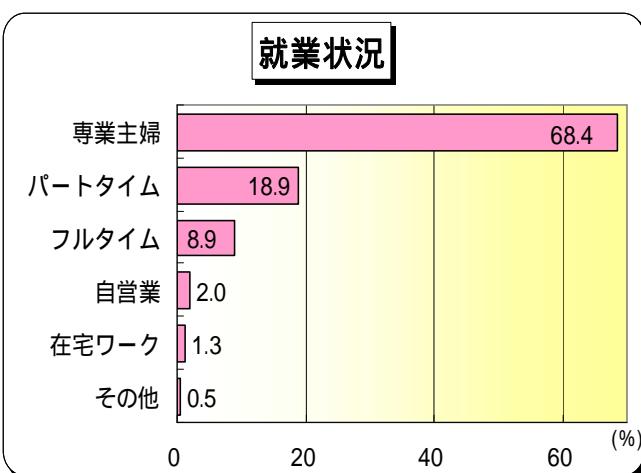
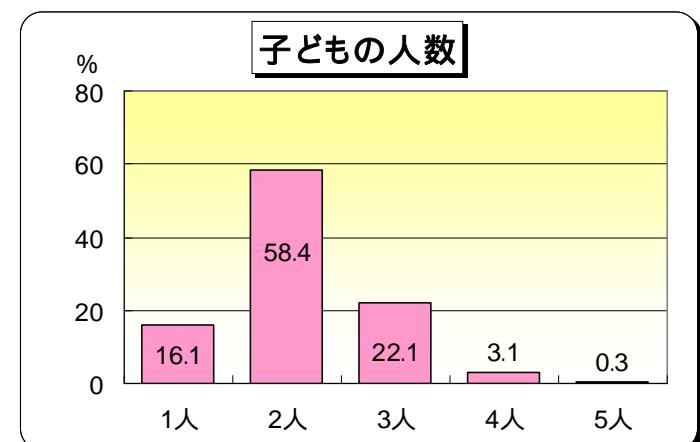
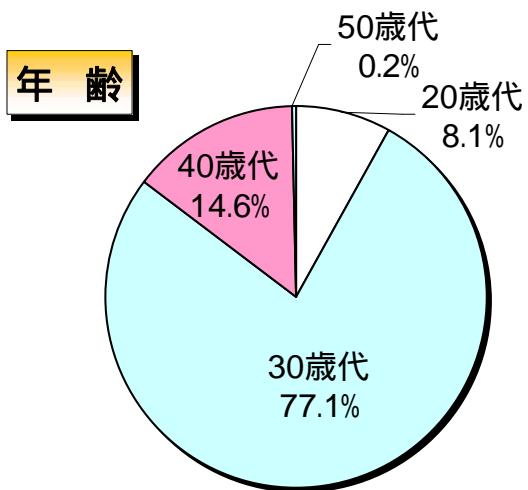
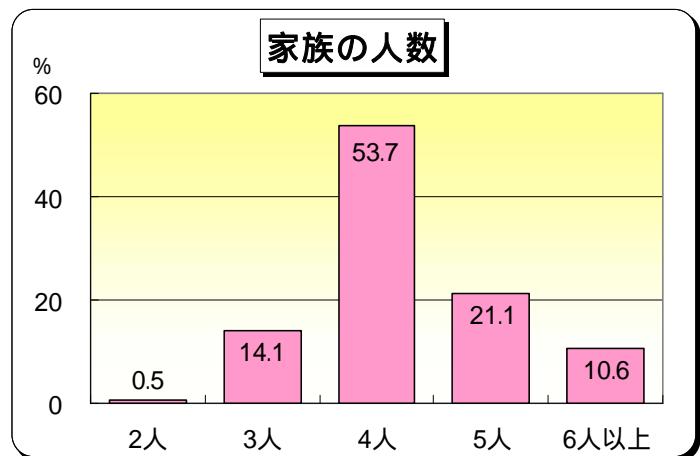
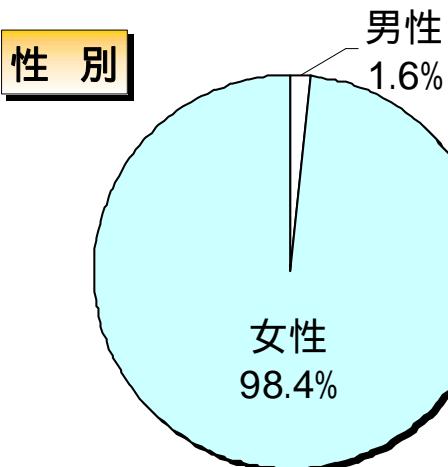
- 1 子どもの生活
- 2 子どもの成長
- 3 保護者の育児観
- 4 子育て支援
- 5 子育ての悩み相談

回収結果

調査配布数 615
有効回収数 615（回収率100%）

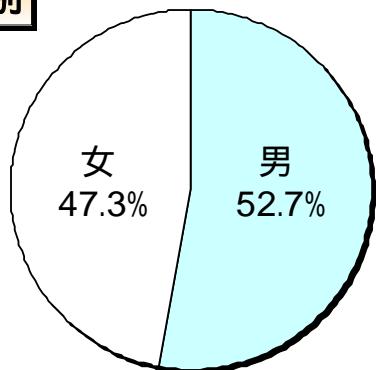
H19 柏市調査結果と H17 Benesse(首都圏)調査結果の比較において、99%の信頼度での有意差について調べ、グラフに記載しました。

- ・有意差とは、統計学などでいくつかの変量の相関関係において偶然とはいえない差のこと
- ・有意差ありの場合は、99%の信頼度で2つのデータには明らかに違いがあるといえる
- ・有意差なしの場合は、99%の信頼度で2つのデータには差があるとはいえない

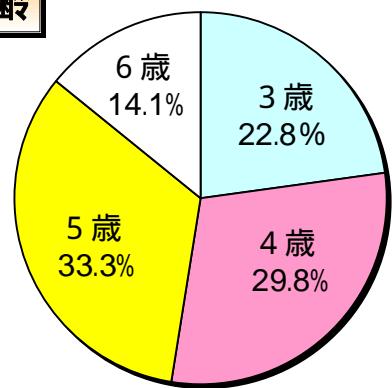


回答に応じたのは、ほとんどが30歳代の主婦である。また、家族構成は4人が多く、子どもの人数（2人がおよそ6割）と考え合わせると、核家族が多いと思われる。

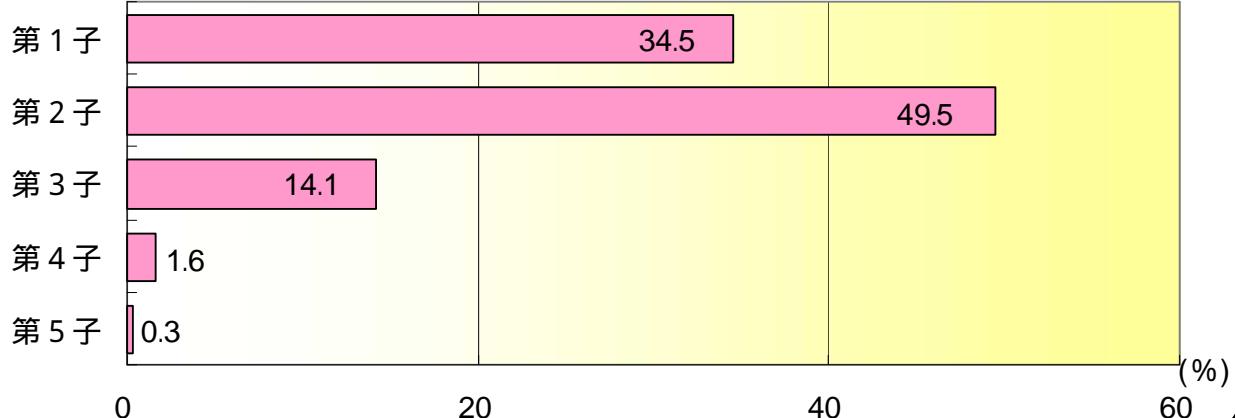
性別



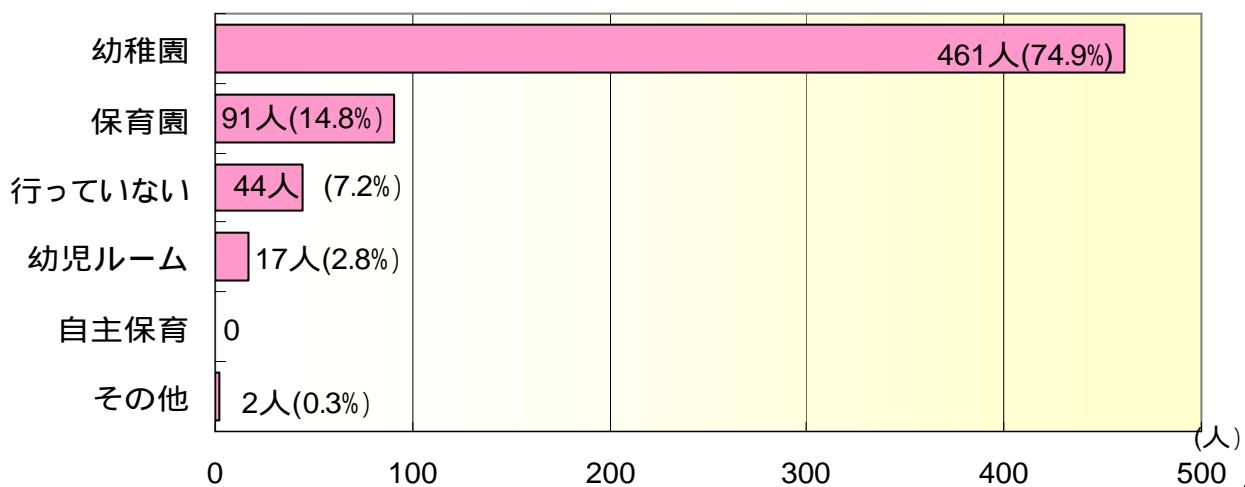
年齢



出生順位



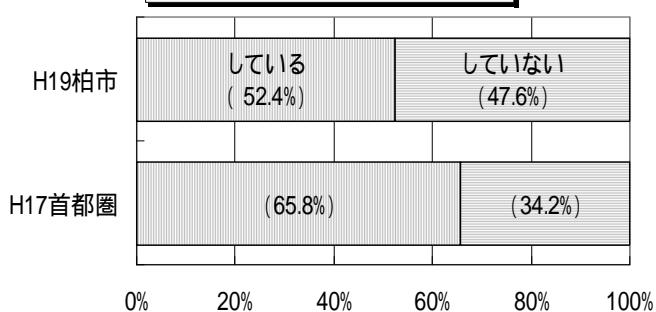
通園状況



調査対象の子どもの約75%が幼稚園児であり、保育園児は約15%、未就園児(行っていない+幼稚児ルーム)は約10%である。また、約半数の子どもが第2子である。

習い事について

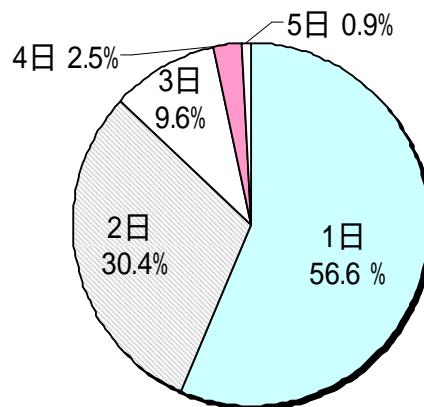
10 習い事やおけいこ事は？



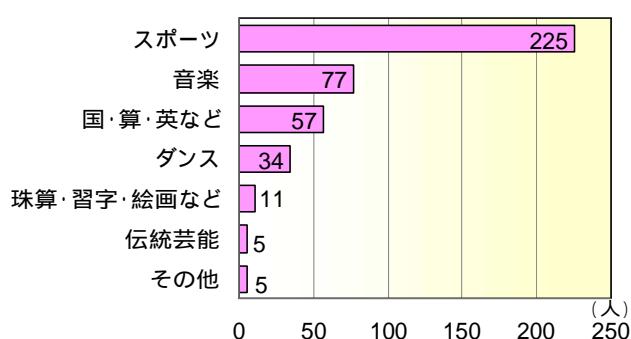
* H17 Benesse調査 首都圏(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉)3~6歳児

柏市と首都圏と比較において、有意差あり

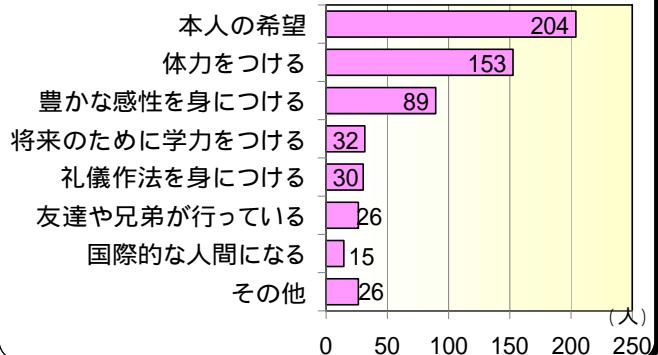
10-2 習い事は週何日？



10-3 習い事の種類 (複数可)



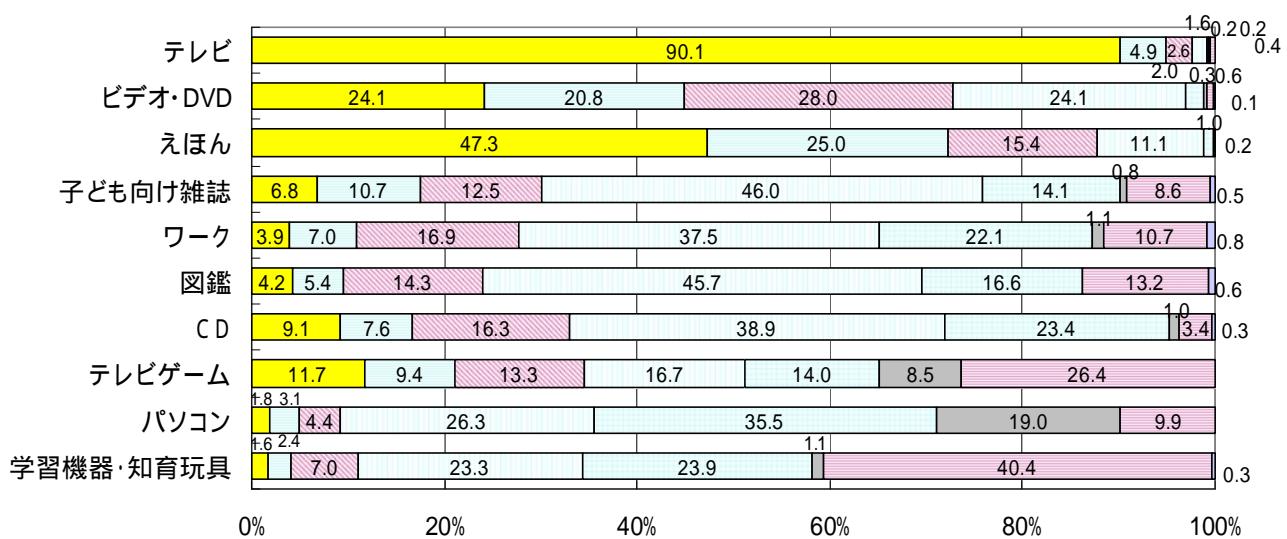
10-4 習い事をさせる理由 (複数可)



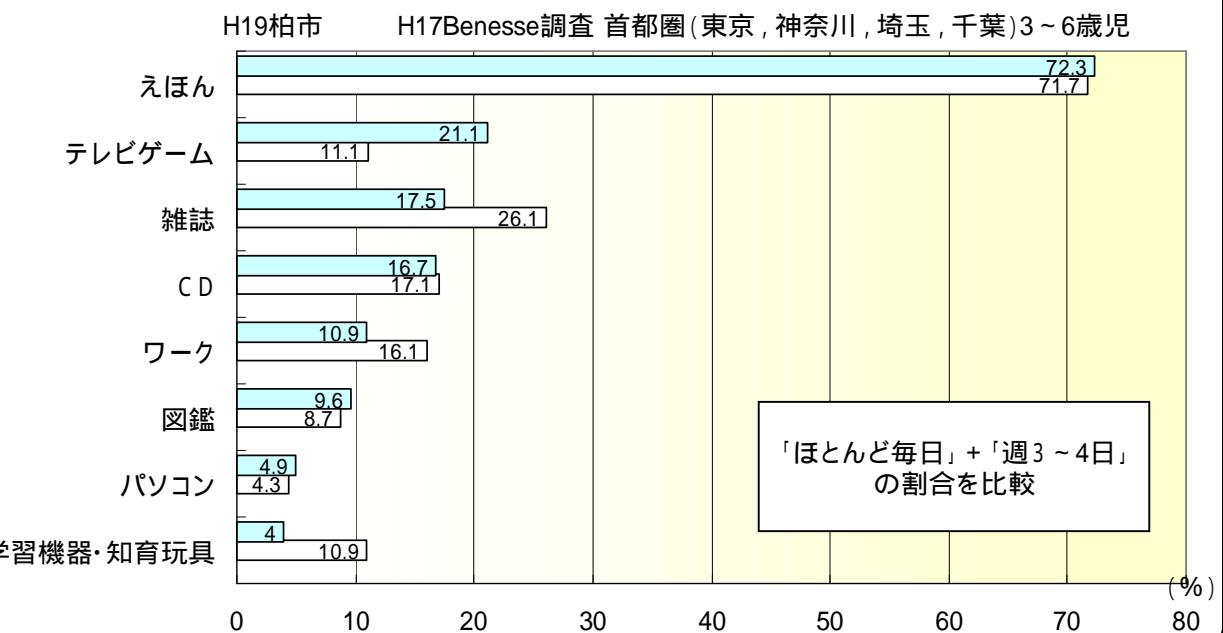
家にあるものについて

11 家にあるものの使用頻度は？

■ ほとんど毎日 □ 週3~4日 □ 週1~2日 □ ごくたまに □ 全然使わない □ 使わせない □ 家に無い □ 無答・不明



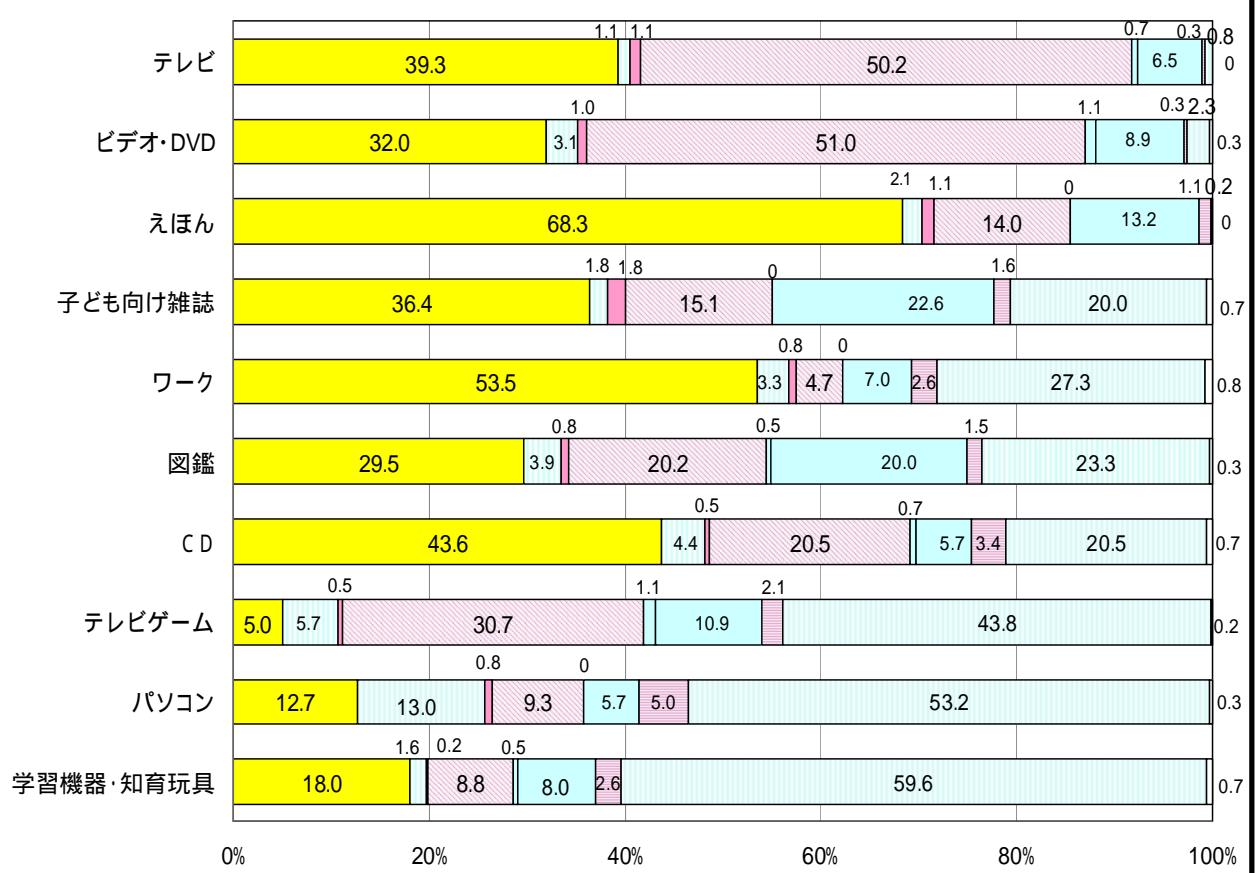
家にあるものの使用頻度 (H19柏市とH17首都圏との比較)



柏市と首都圏と比較において、「テレビゲーム」「雑誌」「ワーク」「学習機器」に有意差あり

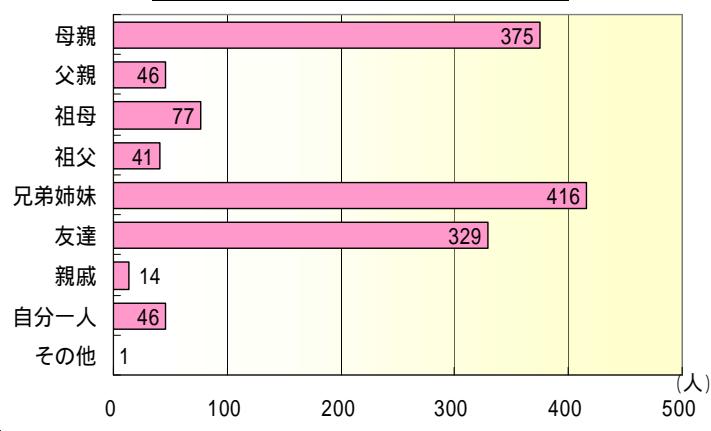
12 使用するのは誰と一緒に?

□母親 □父親 □祖父母 □兄弟姉妹 □友達 □一人 □その他 □家に無い・使わない □無答・不明

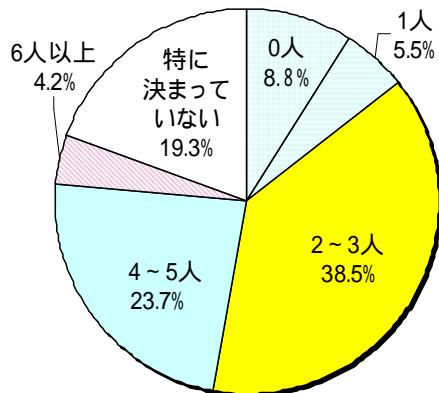


遊びについて

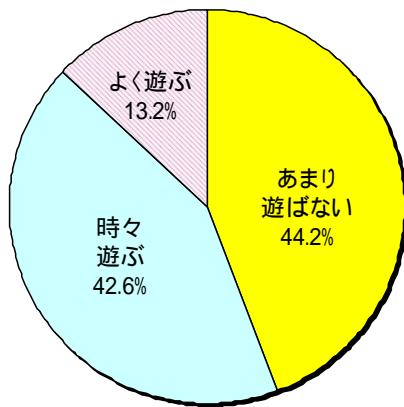
13 平日遊ぶのは誰と？(複数可)



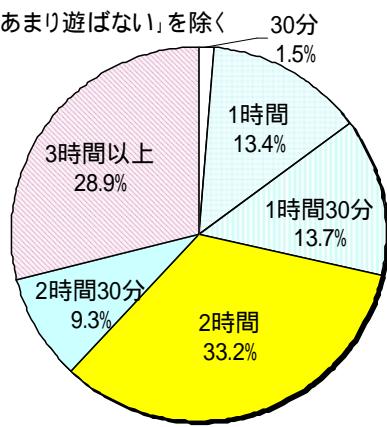
14 よく一緒に遊ぶ友達は何人？



15 休日に友達と遊ぶ？



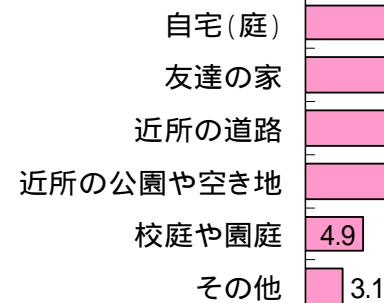
15-2 遊ぶのは何時間くらい？



16 どこで遊ぶ？(園児は降園後)2つまで

自宅(家の中)

63.1



(%)

- 半数以上の子どもが習い事に行っているが、首都圏（約 65.8%）と比べると少ない。
- 家にあるものの使用頻度の上位は、「テレビ」「ビデオ・DVD」「えほん」である。また、テレビゲームやパソコンは「使わない・家がない」家庭が約半数。首都圏での使用頻度と比較すると、テレビゲームが多く、雑誌・ワーク・学習機器等は少ない。
- 平日は兄弟姉妹や 2~3 人の少人数の友達と遊ぶことが多く、休日は友達とあまり遊ばない子が多い。また、遊び場所としては、家の中が多い。

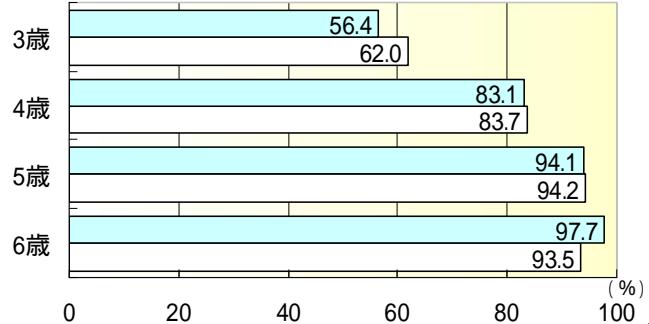
調査2

子どもの成長

17 生活習慣について

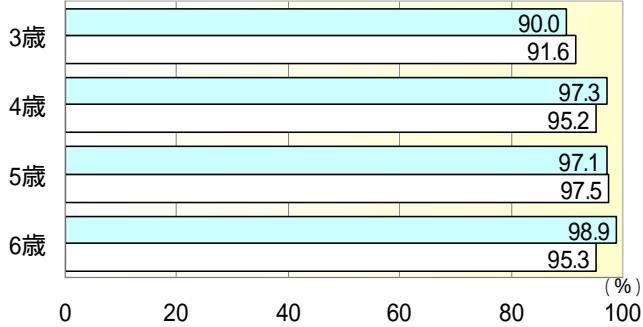
H19 柏市
H17 Benesse 調査
首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）

おはしを使って食べることができる



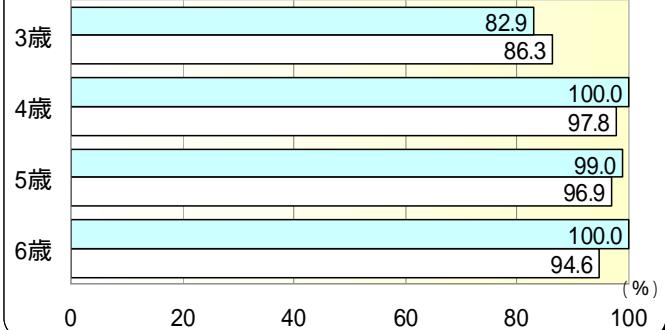
どの年齢も有意差なし

歯を磨いて口をすぐことができる



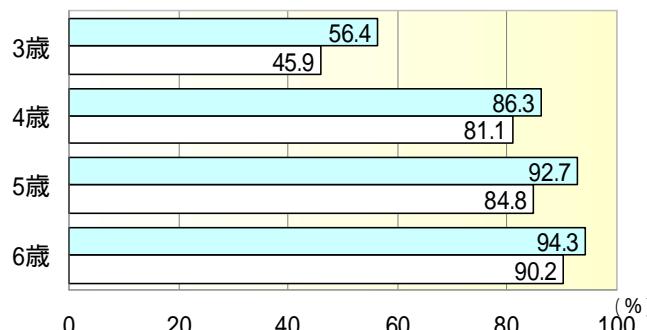
どの年齢も有意差なし

トイレの前に知らせることができる



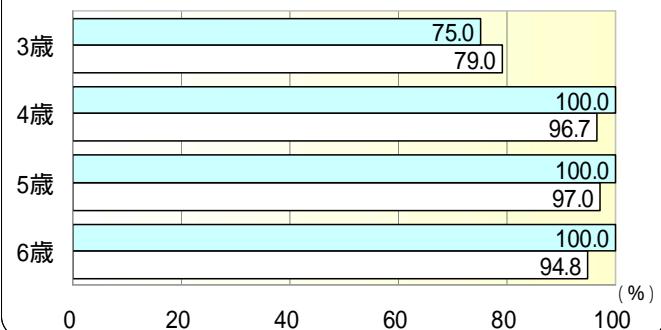
どの年齢も有意差なし

オムツをしないで寝ることができます



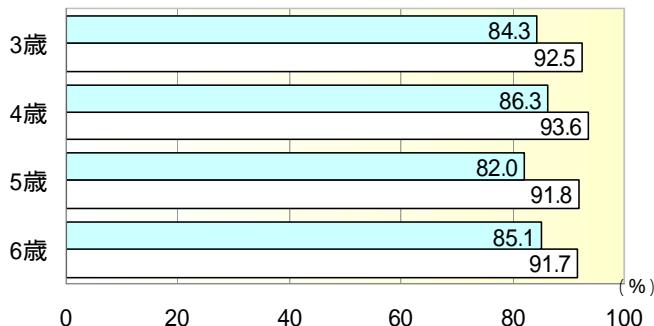
5歳児に有意差あり

自分でうんちやおしっこをすることができます



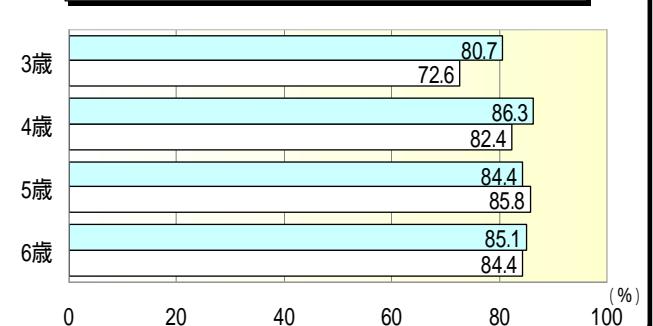
どの年齢も有意差なし

周りの人に挨拶することができます



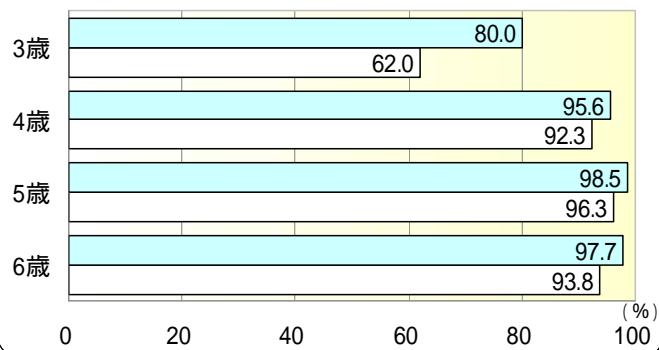
3歳児・4歳児・5歳児に有意差あり

決まった時刻に起床・就寝することができます



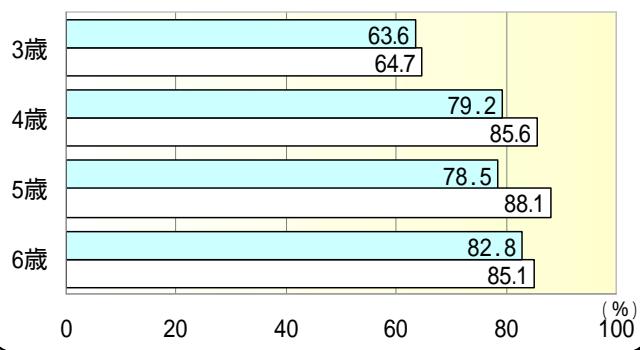
どの年齢も有意差なし

自分で着替えができる



3歳児に有意差あり

遊んだ後の片付けを自分でできる



5歳児に有意差あり

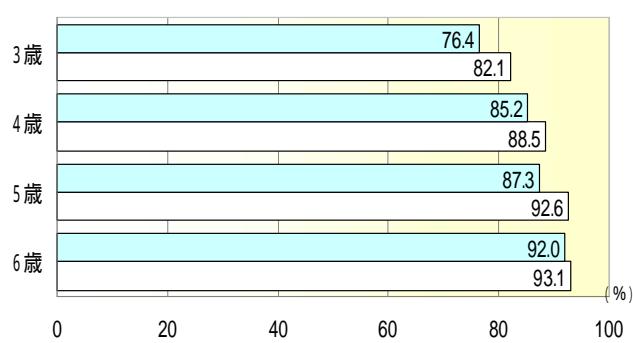
18人とのかかわりについて

H19 柏市

H17 Benesse 調査

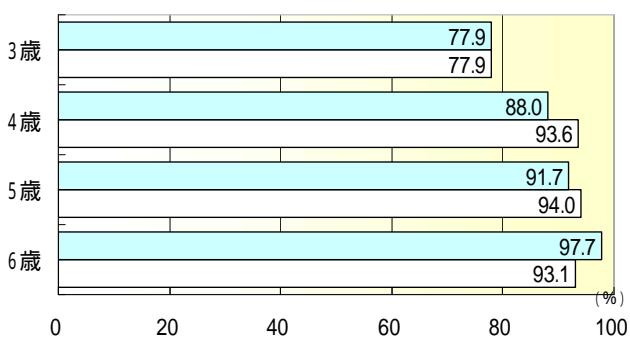
首都圏（東京，神奈川，埼玉，千葉）

言い聞かせると欲しい物を我慢することができる



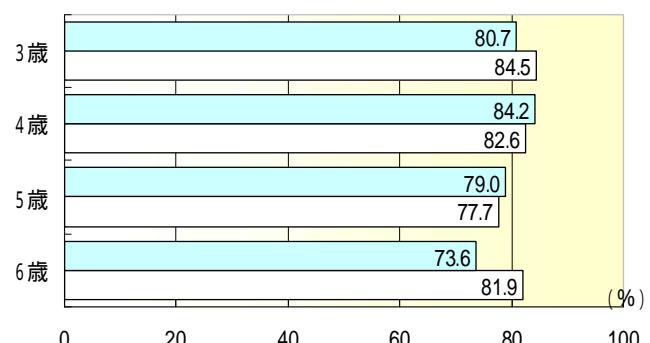
どの年齢も有意差なし

おもちゃ等を友達と順番に使うことができる



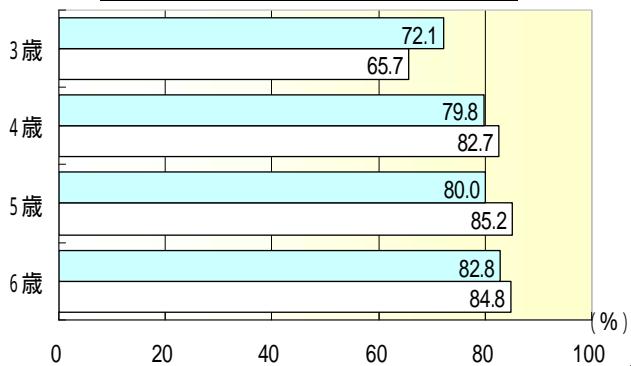
どの年齢も有意差なし

嫌なことははっきり嫌と言える



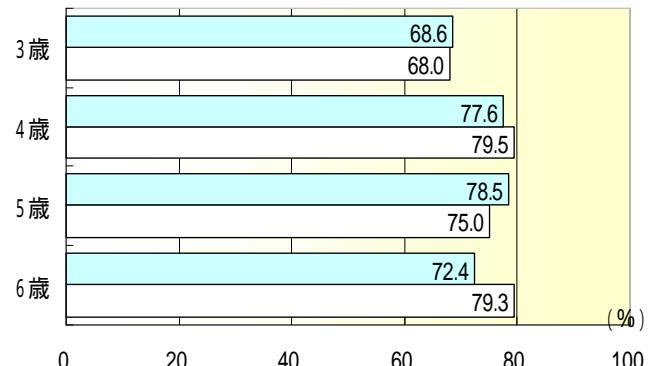
どの年齢も有意差なし

入りたい遊びに「入れて」と言える



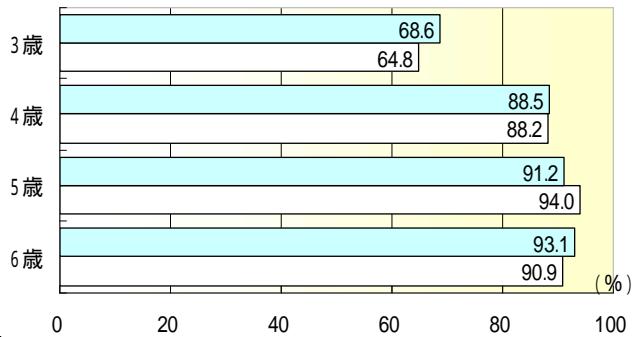
どの年齢も有意差なし

自分の考えや意見を自分から言える



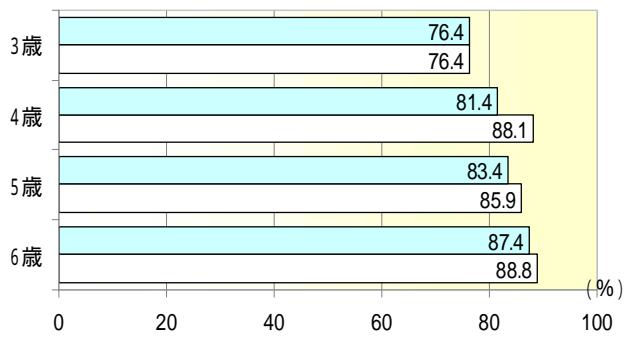
どの年齢も有意差なし

ルールを守って遊ぶことができる



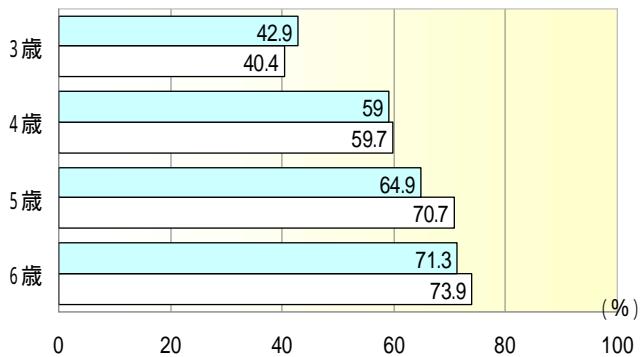
どの年齢も有意差なし

「いけない」と止めるとやめることができる



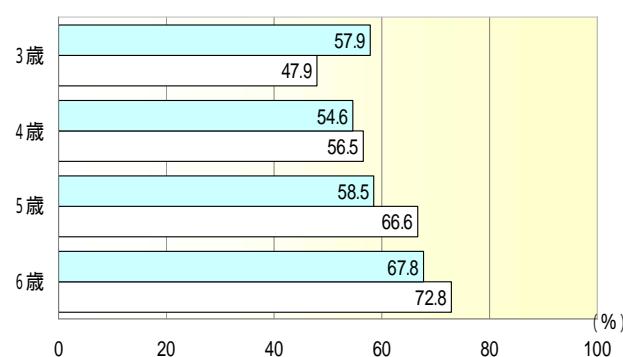
どの年齢も有意差なし

感情をすぐに爆発させずおさえることができる



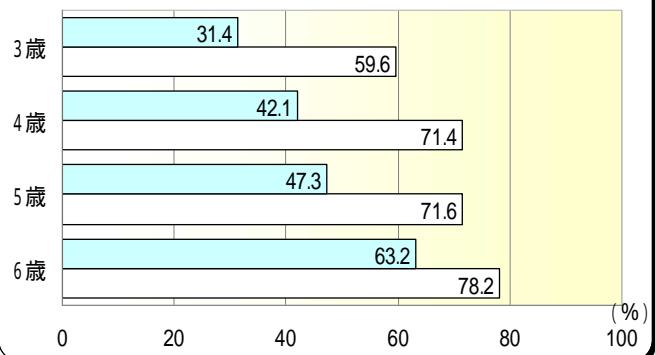
どの年齢も有意差なし

失敗したりうまくいかなくともすぐにあきらめない



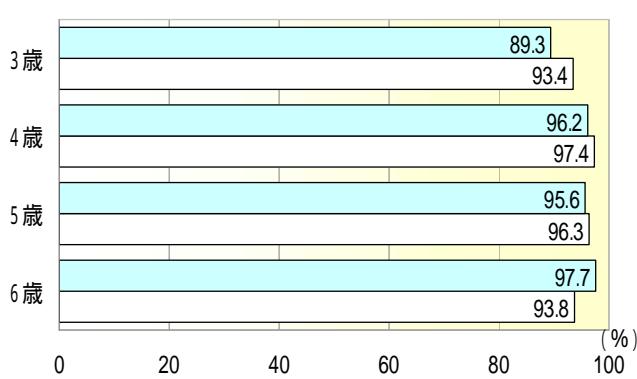
どの年齢も有意差なし

自分を「ぼく」「わたし」と言うことができる



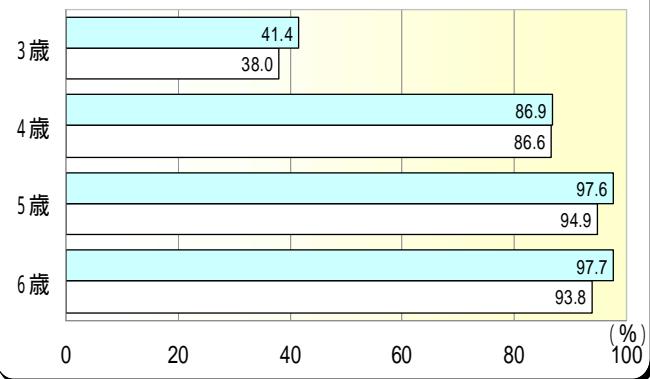
どの年齢も有意差あり

見聞きしたことを身近な人に話すことができる



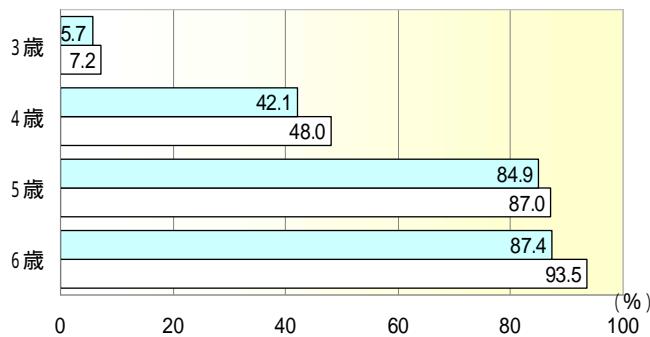
どの年齢も有意差なし

自分の名前を読むことができる



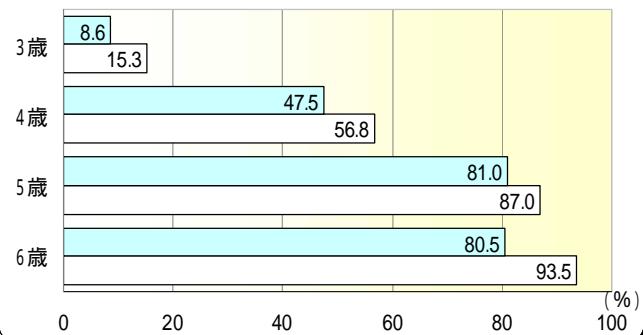
どの年齢も有意差なし

自分の名前を書くことができる



どの年齢も有意差なし

絵本に書かれた字を読むことができる

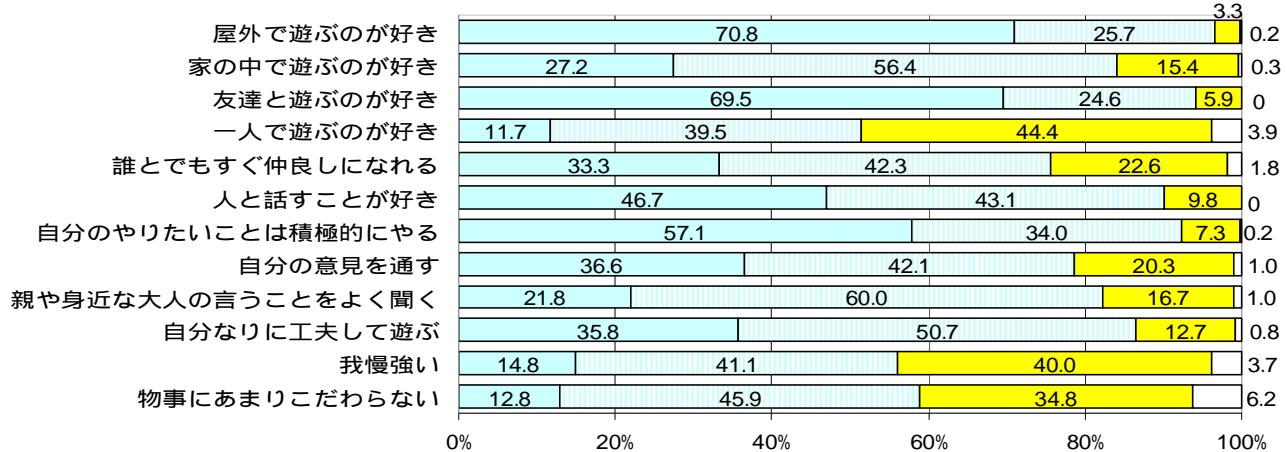


6歳児に有意差あり

20 お子さんはどのようなタイプ？

* 無答・不明があるため、合計しても100%にならないものがある

とてもそう思う まあそう思う あまりそうではない 全然そうではない



21 現在、お子さんの成長について感じていることは？(複数可)

「基本的な生活習慣」をもっと身につけさせたい

40.2

「人とかかわる力」をもっと身につけさせたい

61.1

「言葉」についてもっと身につけさせたい

25.4

現状に満足している

22.4

その他

1.8

(%)

0 20 40 60 80

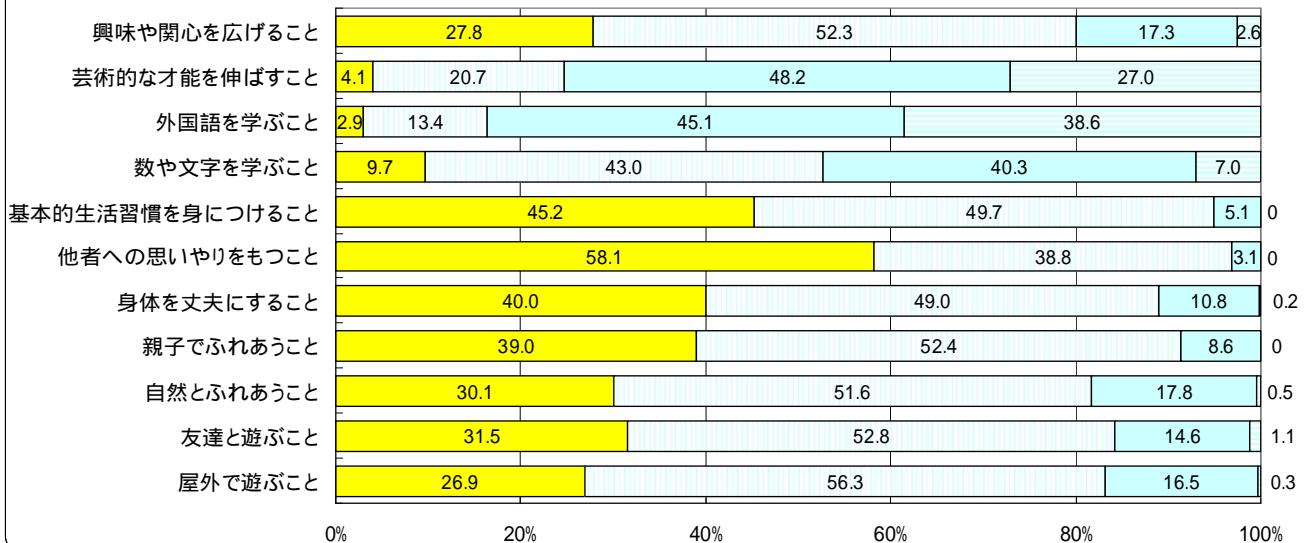
- ・『生活習慣』を首都圏の子どもと比べると、ほとんどの項目で「できる」割合が「ほぼ同じ」か「やや多い」という結果であるが、「挨拶」と「後片付け」については少ない。
- ・『人とのかかわり』について首都圏と比較した場合どの項目もほぼ同じ割合であり、柏市も首都圏と同じ傾向であるといえる。しかし、ほとんど差がないとはいえ、どの項目も柏市の方が「できる」が少ない傾向が見られる点が気になるところである。
- ・『言葉』では、「自分をぼく・わたし」という「絵本の字を読む」が首都圏の子どもより「できる」割合が少ない。特に、「自分をぼく・わたし」と言うことができる子は、6歳児でも約6割である。
- ・『子どものタイプ』の「とてもそう思う」をみると、「屋外で遊ぶ」「友達と遊ぶ」ことが好きな子が多い。また「自分のやりたいことは積極的にやる」が半数以上の反面、「我慢強い」は少ない。
- ・『子どもの成長』について、「現状に満足している」という親は約2割。6割以上の親が「人とかかわる力をもっと身につけさせたい」と感じている。

調査3

保護者の育児観

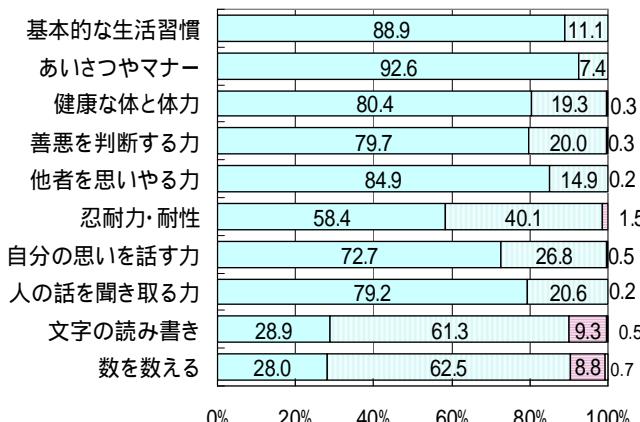
22 現在子育てで力を入れていることは？

とても力を入れている まあ力を入れている あまり力を入れていない 全然力を入れていない



23 小学校入学までに身につけることが大切？

とても大切 まあ大切 あまり大切でない 全然大切でない

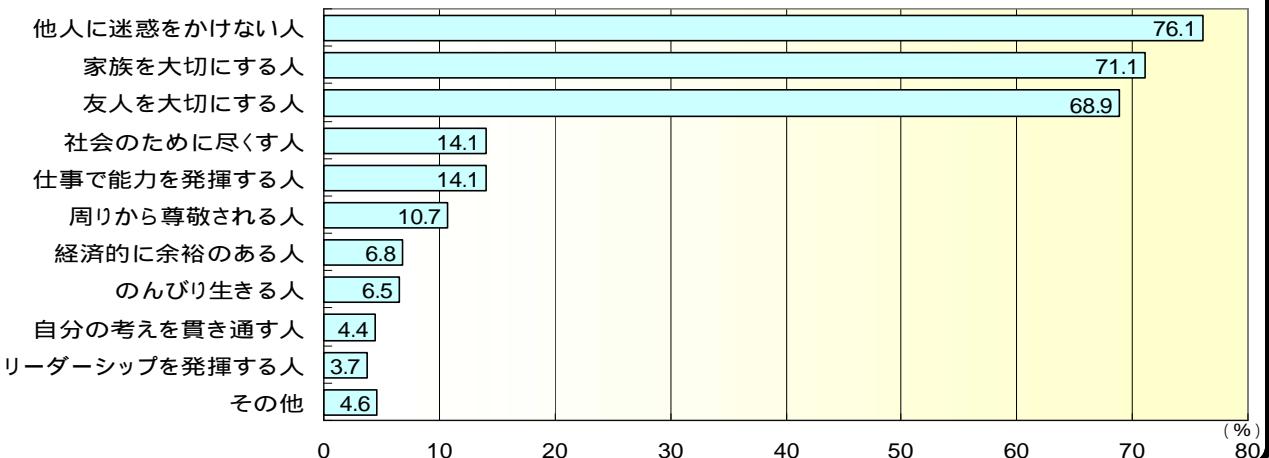


24 身につけるのは主にどこで？

家庭
幼稚園や保育園
習い事

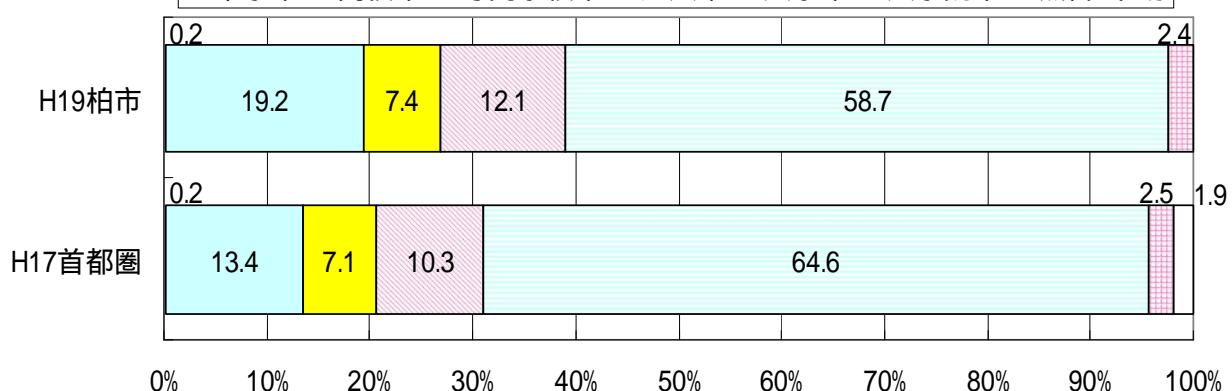


25 将来どのような人になってほしい？(3つまで)



26 進学はどの程度まで？(H19柏市とH17首都圏の比較)

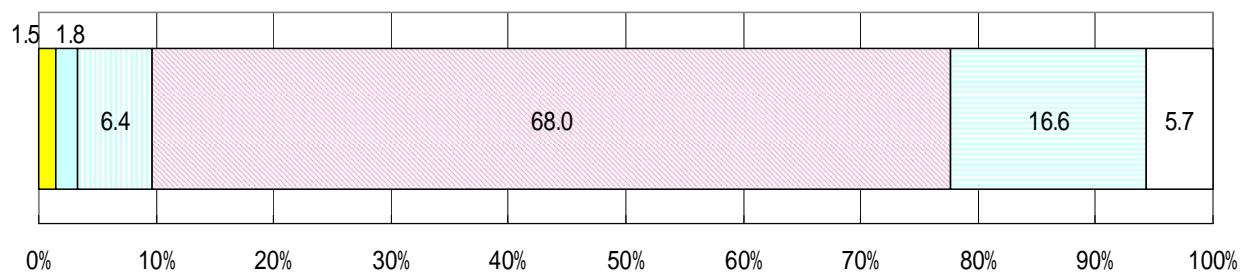
■ 中学卒 □ 高校卒 ■ 専門学校卒 □ 短大卒 □ 大学卒 ■ 大学院卒 □ 無答・不明



H17 Benesse調査 首都圏(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉)は, 1歳6ヶ月 ~ 6歳児。母親の回答のみ分析。

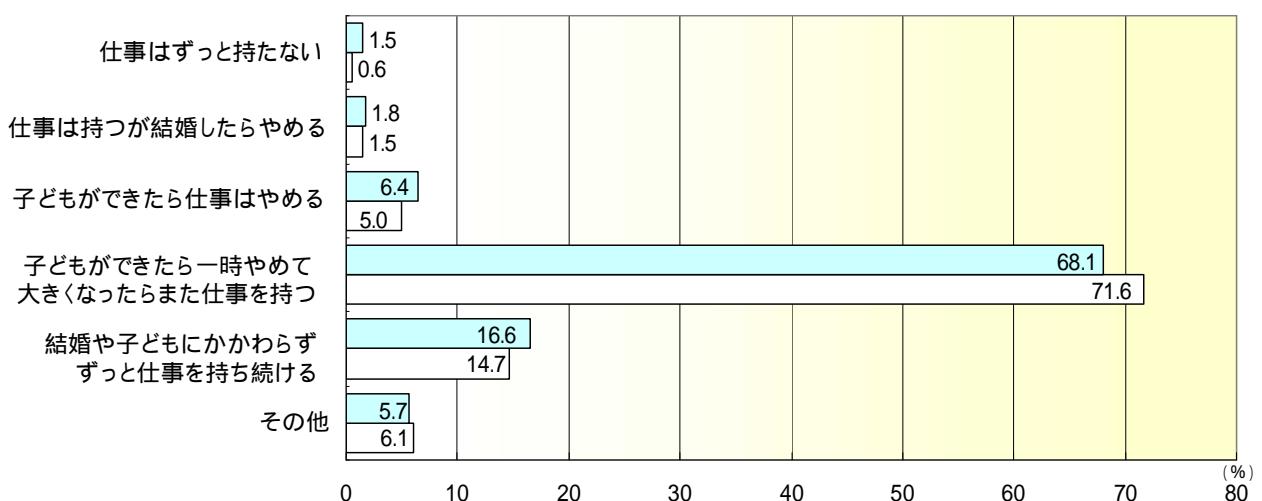
27 女性と仕事についての考えは？

- 仕事はずっと持たない方がいい
- 仕事は持つが, 結婚したらやめる方がいい
- 仕事は持つが, 子どもができたらやめる方がいい
- 子どもができたら一時やめ, 大きくなったらまた仕事をする方がいい
- 結婚や子どもにかかわらず, 仕事を持続する方がいい
- その他



27 女性と仕事についての考えは？(H19柏市とH17首都圏の比較)

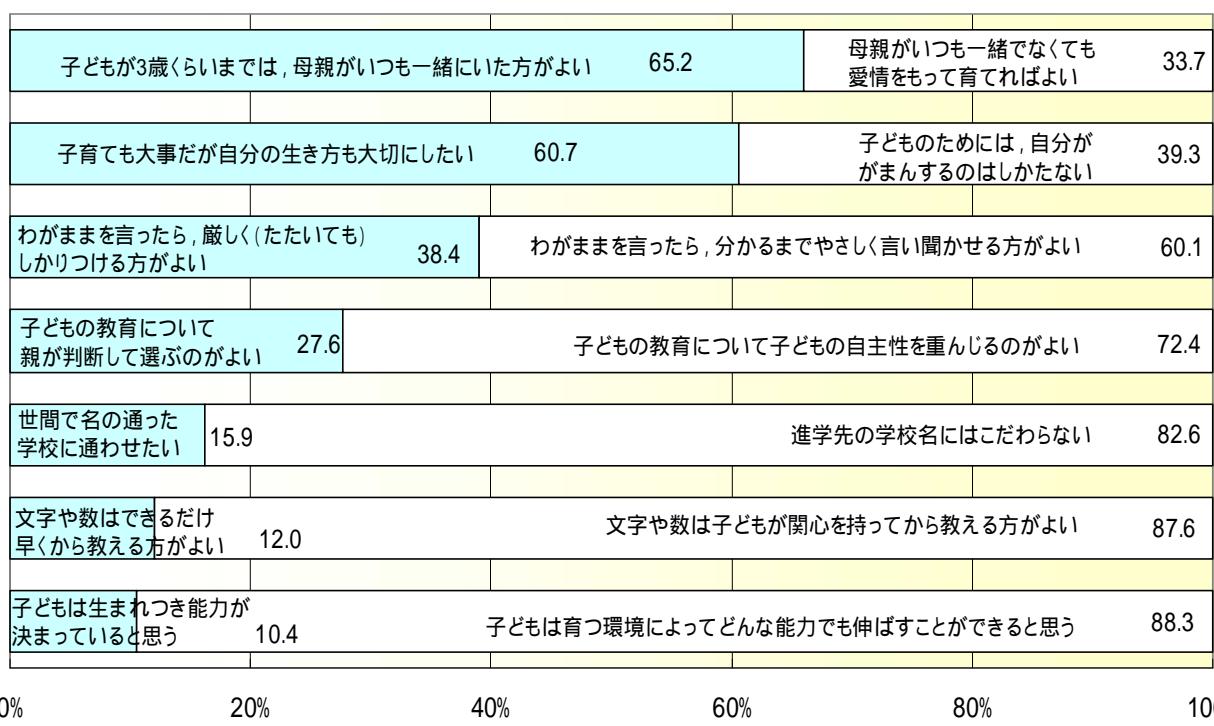
H19柏市 H17 Benesse調査首都圏(東京, 神奈川, 埼玉, 千葉)1歳6ヶ月 ~ 6歳児。母親の回答のみ分析



柏市と首都圏の比較において、有意差なし

28 子育て観であなたの気持ちに近いのは？

* 無答・不明があるため、合計しても100%にならないものがある。



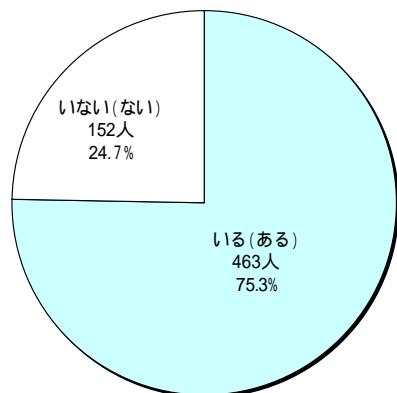
0% 20% 40% 60% 80% 100%

- ・『子育てで力を入れていること』の上位は、「他者への思いやり」「基本的生活習慣」である。
- ・『就学までに身につけることが大切』としている「基本的な生活習慣」「あいさつ・マナー」については、ほとんどの親が「家庭」で身につけると考えているが、「思いやる力」「忍耐力」「話す力」「聞く力」は「幼稚園・保育園」に期待している親が半数近い。
- ・『子どもの将来』については、ほとんどの親が「他人に迷惑をかけず、家族・友人を大切にする人」になることを願っており、「自分の考えを貫き通し、リーダーシップを発揮する人」は少ない。
- ・『進学』については、「大学卒」までを望んでいる親が6割近い。首都圏と比べると「大学卒」はやや少なく、「高卒」「短大卒」が多い。
- ・『女性と仕事』については、7割近くの親が「子どもができたら一時やめ、大きくなったらまた仕事をする方がいい」と考えている。首都圏と比較してもほぼ同じ傾向であるが、「仕事は持つが結婚したらやめる」「ずっと仕事を持ち続ける」はやや多い。
- ・『子育てに関する考え方』では、「自分の生き方も大切にしたい」と考える親が約6割。また、「わがままを言ったら分かるまでやさしく言い聞かせる」も約6割である。教育については、子どもの自主性や関心を尊重する考え方の親が8割以上である。

調査4

子育て支援

29 仕事以外で家を空けるとき子どもの面倒を見ててくれる人(場所)は?



29 仕事以外で家を空けるとき子どもの面倒を見ててくれる人(場所)は? (就園別状況)

□いる(ある) □いない(ない)

幼稚園 461人

73.8% (340人) 26.2% (121人)

保育園 91人

81.3% (74人) 18.7% (17人)

未就園 61人

78.7% (48人) 21.3% (13人)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

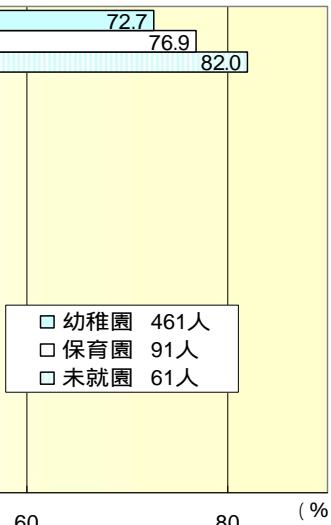
29-2 それはどんな人(場所)? (複数可)

子どもの祖父母や親戚
夫(妻)
幼稚園や保育園の預かり保育
友人
近所の人
ファミリーサポートセンター
民間の託児サービス
その他

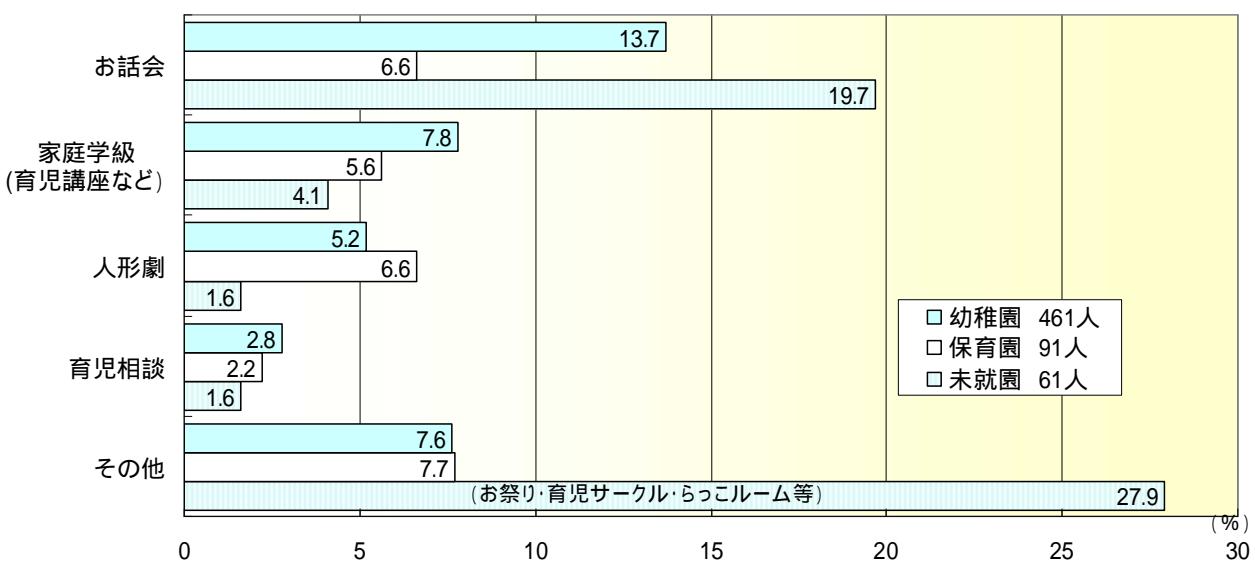


30 よく利用する公共施設は? (複数可)

公園
図書館
市民プール・体育館
児童センター・近隣センター
園の園庭開放
学校の校庭や体育館
その他



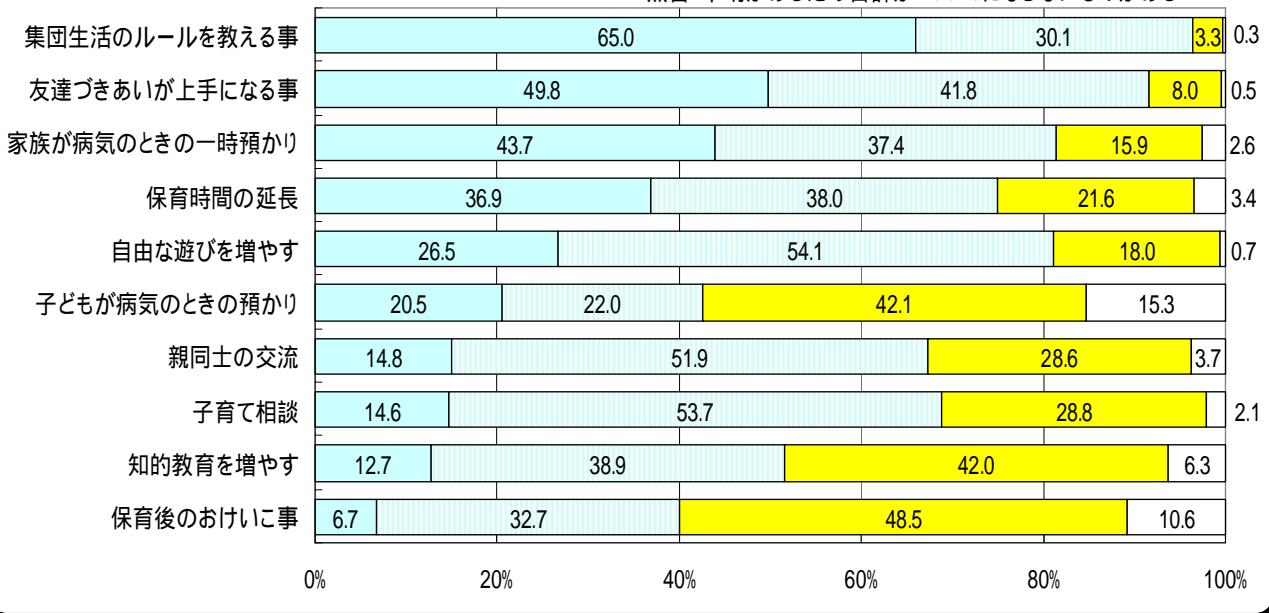
31 よく利用する地域の催しは？(複数可)



32 幼稚園や保育園に期待することは？

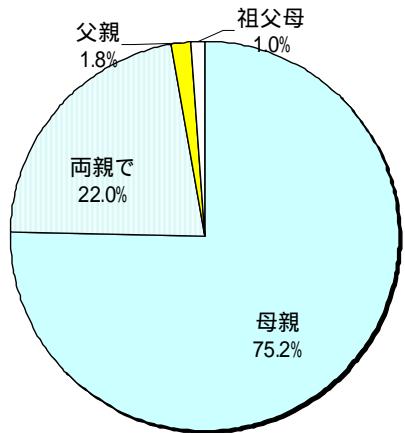
□とてもそう思う □まあそう思う □あまり思わない □全然思わない

*無答・不明があるため合計が100%にならないものがある

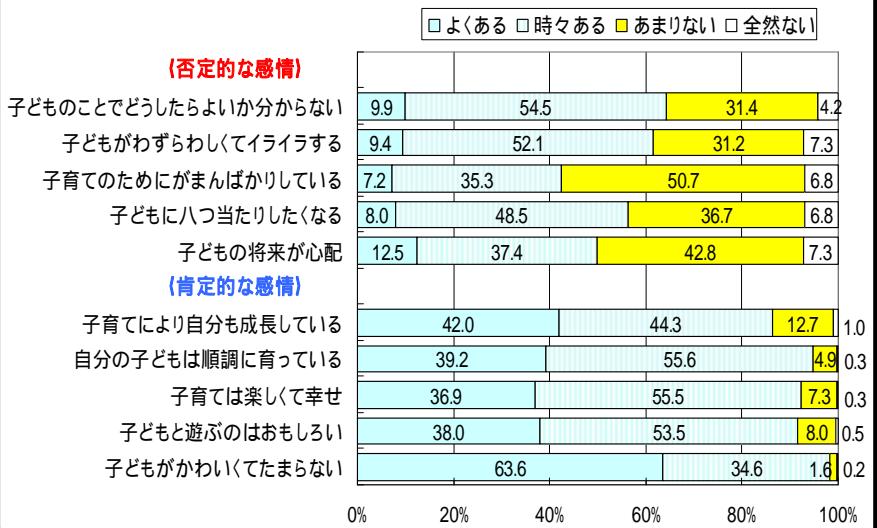


- ・約1/4の家庭は、「仕事以外で家を空けるとき子どもの面倒をみててくれる人(場所)」がない。また、「子どもを見てくれる人(場所)」の多くが「祖父母や親戚、夫(妻)」である。就園別では、幼稚園や保育園は「預かり保育」を利用し、未就園は「友人」「近所の人」に頼むことが多い。
- ・『よく利用する公共施設』で最も多いのは「公園」で、次に多いのが「図書館」である。また、未就園の場合は「近隣センター」や「園庭開放」も多い。
- ・『よく利用する地域の催し』は「お話会」であり、全体的に未就園の利用率が高い。
- ・『幼稚園や保育園に期待すること』は、「集団生活のルール」「友達づきあい」が1・2位であるが、「家族が病気のときの一時預かり」「保育時間の延長」等に対する期待も大きい。

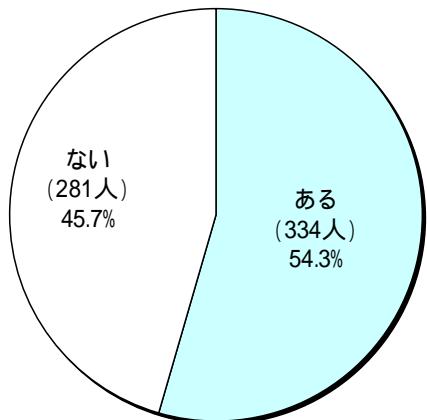
33 育児やしつけをするのは主に誰？



34 最近、感じることがある？



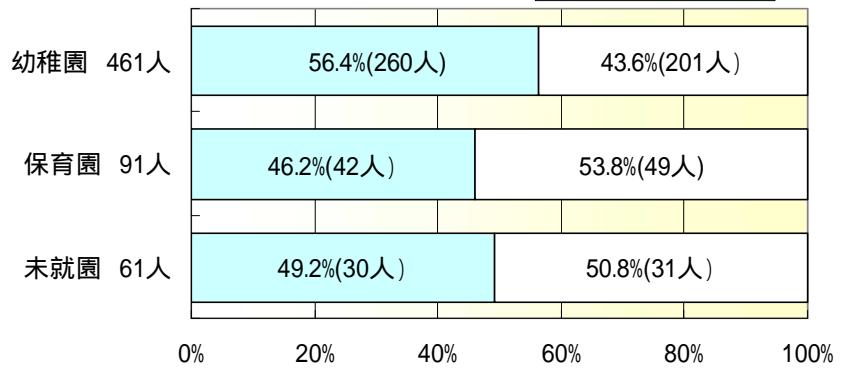
35 子育ての悩みは？



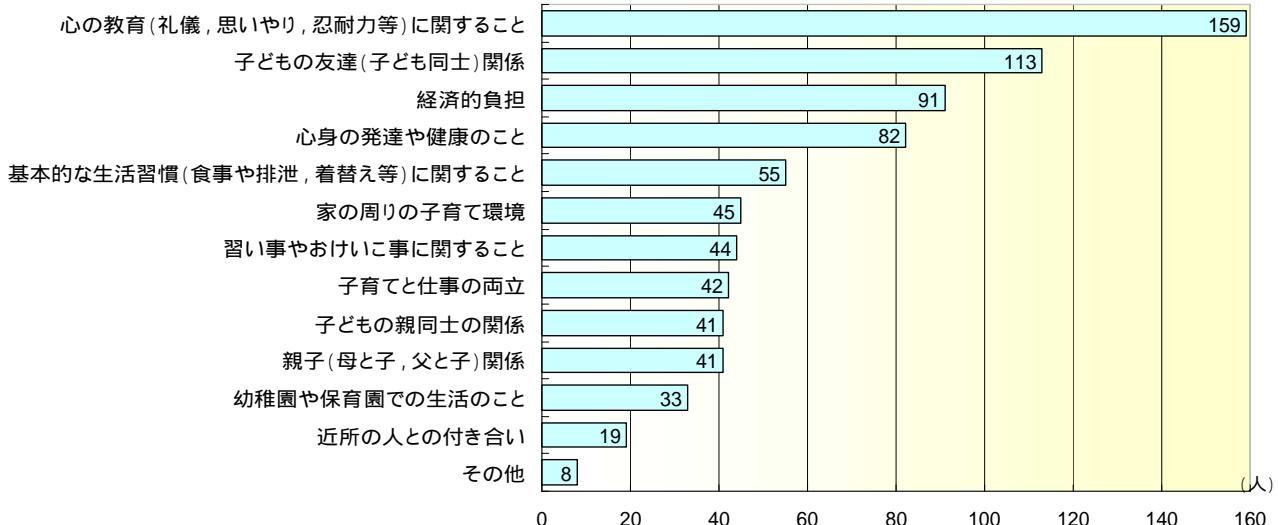
35 子育ての悩みは？(就園別状況)

* 就園別のその他(2人)は除く

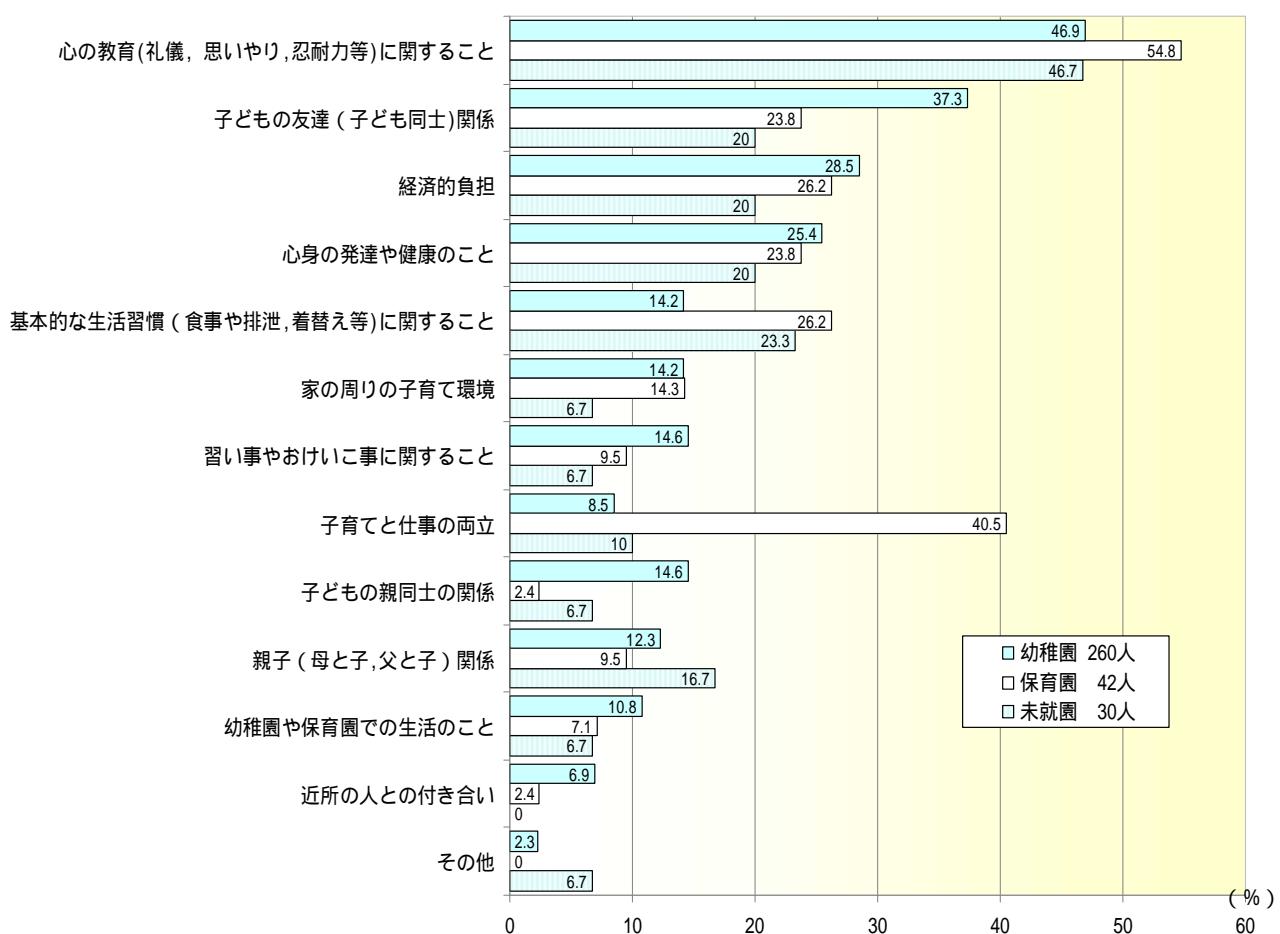
□ ある □ ない



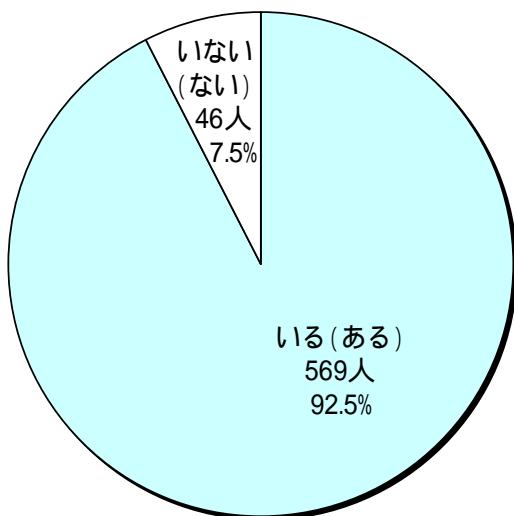
35-2 それはどんな悩み？(複数可)



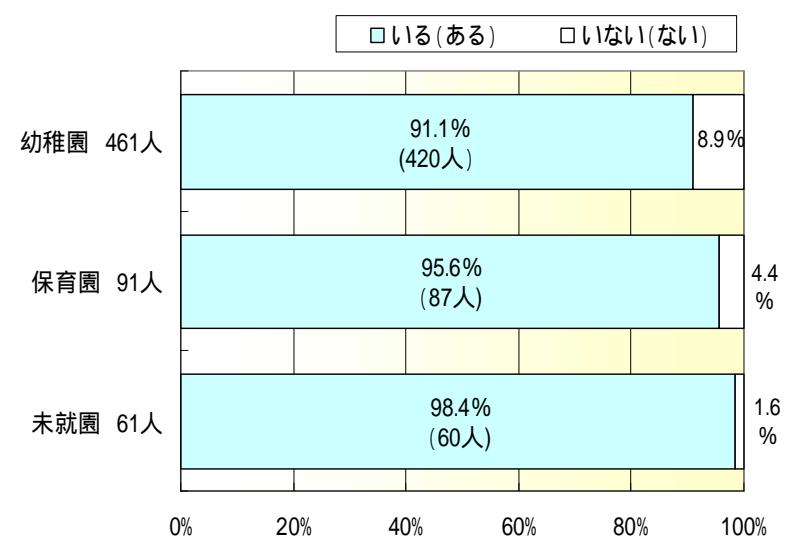
35-2 それはどんな悩み？(就園別状況)複数可



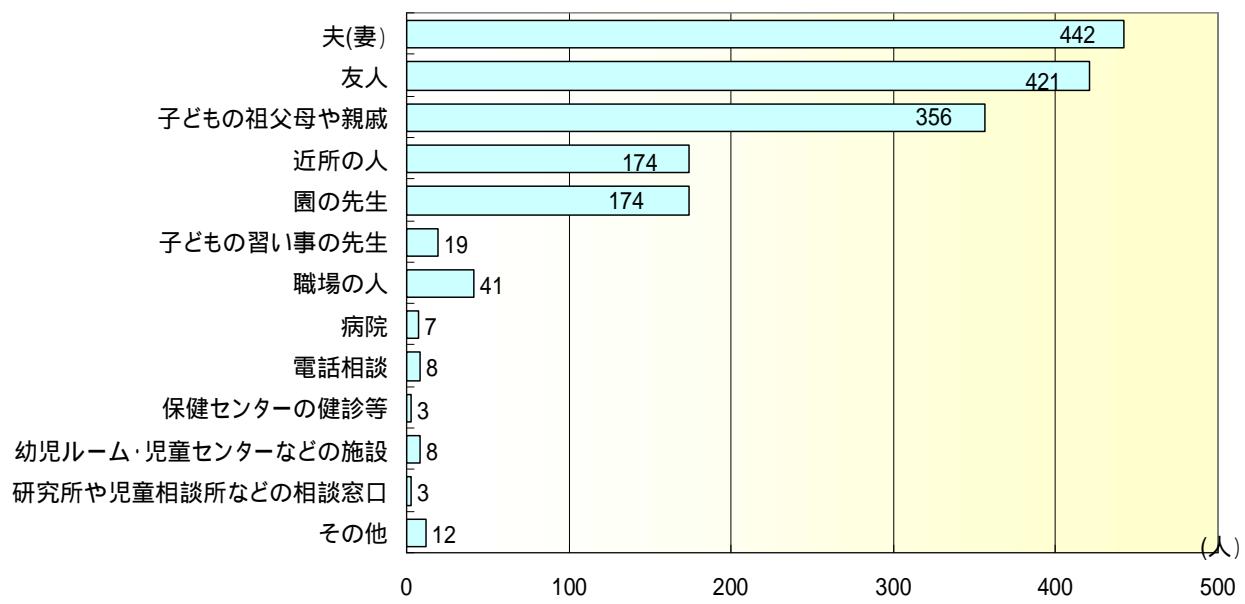
36 子育てを相談できる人(所)は？



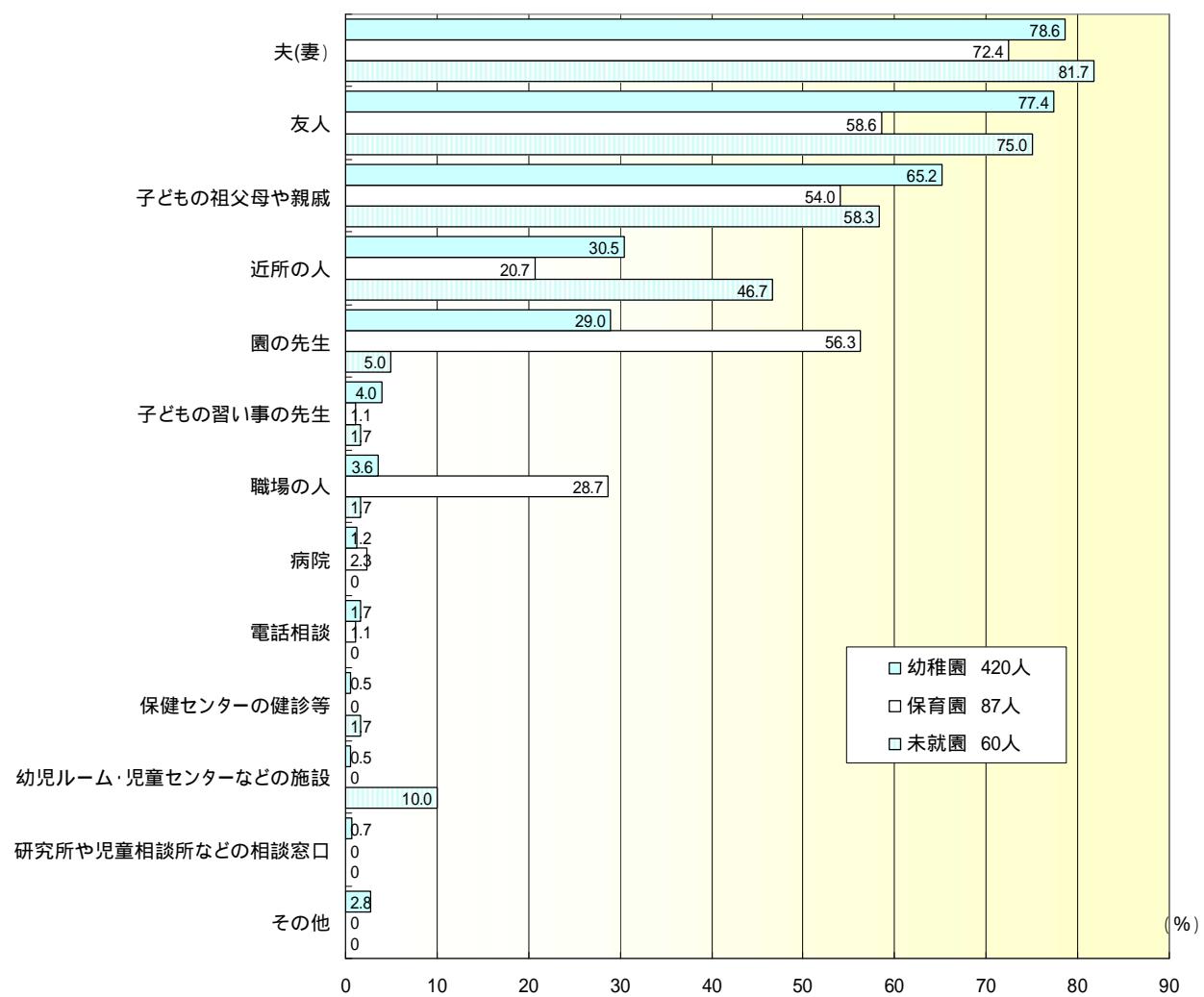
36 子育てを相談できる人(所)は？(就園別状況)



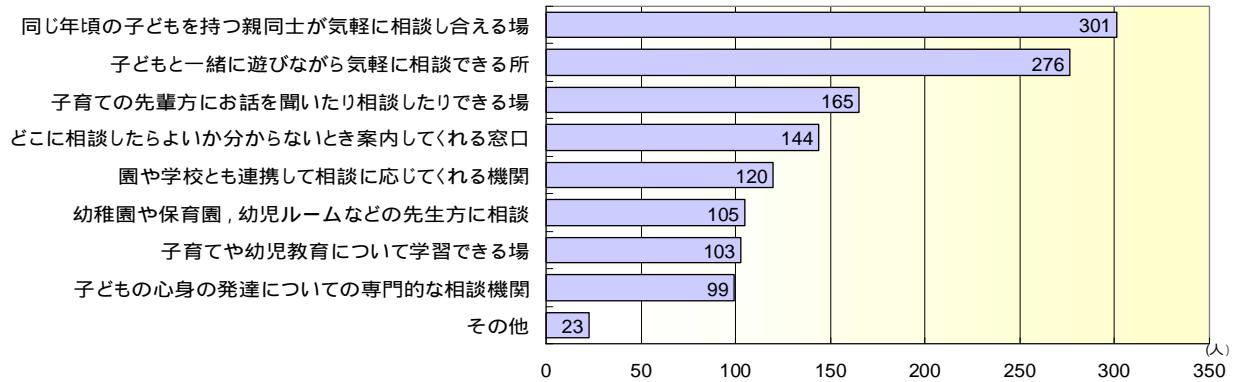
36-2 それは誰(どこ) ? (複数可)



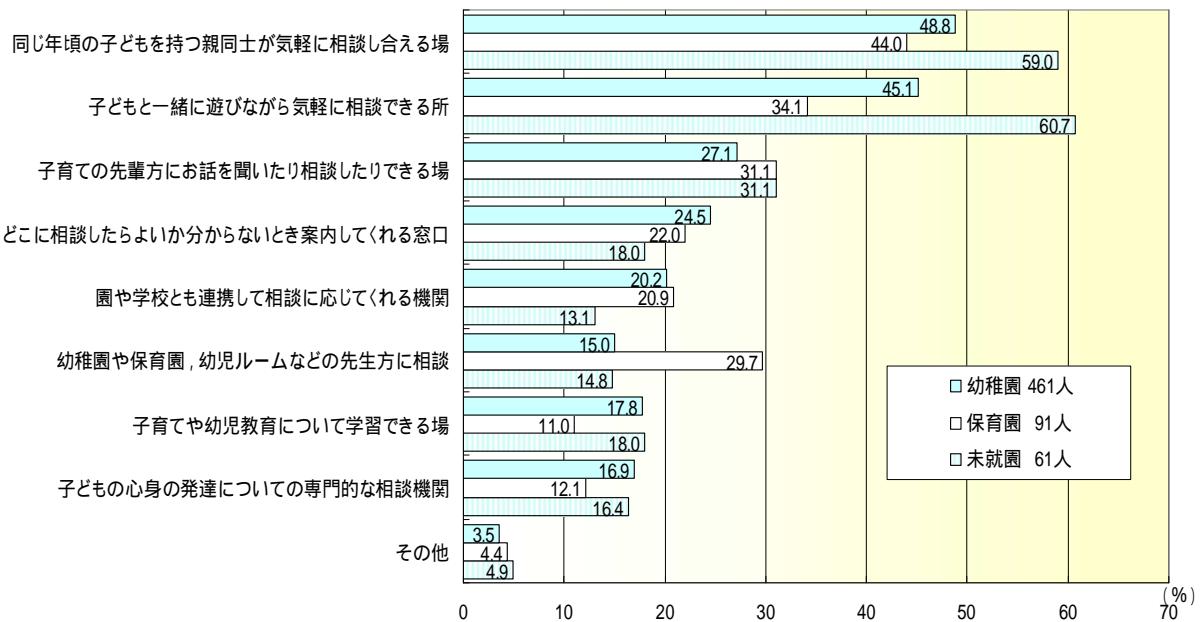
36 2 それは誰(どこ) ? (就園別状況)複数可



37 子育ての悩みを解消するために望むことは？(複数可)



37 子育ての悩み解消のために望むことは？(就園別状況) 複数可



- 『育児やしつけ』を主にしているのは母親という家庭が全体のおよそ3/4であり、両親でという家庭は1/4に満たない。
- 『最近感じること』については肯定的な感情が大変高いが、「よくある」と「時々ある」を合わせると、否定的な感情も半分以上をしめているものが多い。
- 『子育ての悩み』は半数以上が「ある」と回答している。就園別に見ると幼稚園がやや多い。
- 『悩みの内容』は「心の教育(礼儀、思いやり、忍耐力等)」が最も多く、次に「友達関係」「経済的負担」「心身の発達」「基本的な生活習慣」と続く。また、保育園の保護者の半数近くが「子育てと仕事の両立」で悩んでいる。
- 『子育てを相談できる人(所)がいない(ない)』は約7.5%。就園別では幼稚園にやや多い。また、主な相談先は「夫(妻)」「友人」「祖父母や親戚」だが、子どもが就園している場合は「園の先生」も多い。
- 『悩み解消のために望むこと』では、「親同士が気軽に相談できる場」「子どもと一緒に遊びながら気軽に相談できる場」を望む親が半数近くいる。その他「先輩方に相談」「相談の案内窓口」「園や学校とも連携した相談」「専門的な相談」などについても2~3割の親が望んでおり、多様な悩みに対する様々な支援が求められている。